

## New Crown 第14回 Lessons

### Lesson 14-1 : be 動詞の過去形 : 肯定文・否定文

ここで学ぶのは、be 動詞が過去形になる肯定文と否定文についてです。具体的には「私は彼のクラスにいました」「彼女は忙しくなかったです」といった文章です。基本的な文章の形は、現在形の時 (am / is / are が使われる場合) と同じなのですが、使われる be 動詞が was / were となります。

#### was

1. **am** と **is** の過去形。
2. 「主語は～でした」「主語は～ではありませんでした」と言いたい時に使う。
3. 肯定文の基本的な形 : I was ~. / She was ~. / It was ~. / Ken was ~. など。
4. 否定文の基本的な形 : I was not (wasn't) ~. / She was not (wasn't) ~. / It was not (wasn't) ~. / Ken was not (wasn't) ~. など。
5. 現在形では I'm / He's など「主語」と「be 動詞」の短縮形があったが、過去形の場合、基本的に I's / He's のような短縮形は使われない。

<例> 私は忙しかったです。 I was busy.  
ケンには医者ではありませんでした。 Ken was not (wasn't) a doctor.  
私の英語の授業は長かったです。 My English class was long.

#### were

1. **are** の過去形。
2. 「主語は～でした」と言いたい時に使う。
3. 肯定文の基本的な形 : You were ~. / We were ~. / They were ~. など
4. 否定文の基本的な形 : You were not (weren't) ~. / We were not (weren't) ~. / They were not (weren't) ~. など。
5. 現在形では You're / They're など「主語」と「be 動詞」の短縮形があったが、過去形の場合、基本的に You're / We're のような短縮形は使われない。

<例> 彼らは背が高かったです。 They were tall.  
私たちは東京にいませんでした。 We were not (weren't) in Tokyo.  
あなたは静かでした。 You were quiet.

## Lesson 14-2: 様々なフレーズ⑭

### 1. everyone / everybody = みんな

<例> Everyone usually get up at 7:00. <私はたいてい7時に起床します>

#### [補足説明]

「みんな」と主に訳される everyone / everybody や、「全生徒」と訳される every student といった every の形は、複数形のように思えて実は3人称・単数形になります。そのため、be 動詞は is が使われ、一般動詞には s/es がついたり、doesn't や Does ~? が使われたりします。

<例> Everybody is tall. (みんな背が高いです)  
Everyone needs water. (みんな水が必要です)  
Every student was smart. (全生徒、賢かったです)

また、everyone と everybody の違いは、everyone の方が多少書き言葉であり、everybody は、多少口語的である。

### 2. go ~ing = ~しに行く

<例> Let's go running. <走りに行きましょう>

#### [補足説明]

~ing は、動名詞と呼ばれる形で「~すること」と訳される。そのため、go running は、直訳するなら「走ることをしに行く」というイメージになる。

### 3. go on a trip (to ~) = (～へ) 旅行に行く

<例> He went on a trip to Hawaii. <彼はハワイに旅行に行きました>

### 4. on TV = テレビに出ている / テレビに出演している

watch TV = テレビを見る

<例> He was on TV yesterday. <彼は昨日テレビに出ていました>

I watch TV every morning. <私は毎朝テレビを見ます>

#### [補足説明]

on TV / watch TV は両方とも、TV に、a, the, 所有格はつかないので注意。on the TV とすると「(その) TV の上にのっている」というイメージ、on my TV とすると「私のテレビにのっている」

## 5. then = その時 / それから / その後で / それなら

<例> I came to Japan in 2020. I was 19 years old then.

<私は2020年に日本に来ました。私はその時19歳でした>

### 〔補足説明〕

「それから」という意味の then は、文頭でも使われることがある（この際、Then とカンマがつくことがあるが省略可）。

<例> I went to the library. Then I went home.

(私は図書館に行きました。それから、私は家に帰りました)

## 6. on the court = (バスケなどの) コート上で / コート上に

<例> They are on the court. <彼らはコート上にいます>

### 〔補足説明〕

「コート上に乗っている」というイメージなので、前置詞は on が使われる。また、サッカーなどのフィールド (field) を指す場合 on the field というように前置詞は on が使われる。基本的に話し手の間では、どこのコートか限定されていることが多いので、the court と the がつく。

## Lesson 14-3 : be 動詞の過去形 疑問文

be 動詞の過去形の疑問文は、be 動詞の現在形の疑問文と作り方は同じです。つまり、

肯定文を作り be 動詞を文頭に持ってくるだけで完成

となります。

### 【be 動詞の過去形 疑問文：基本の形】

Was / Were + 主語 + ~?

(「主語」は～でしたか)

<例> Was he your student? (彼はあなたの生徒だったのですか)

Were they busy yesterday? (昨日彼らは忙しかったのですか)

### 【be 動詞の過去形 疑問文：作り方】

ステップ1 : be 動詞の過去形の肯定文を作る。

ステップ2 : 文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を ? にする。

<例1 : 彼はあなたの生徒だったのですか>

ステップ1 : be 動詞の過去形の肯定文を作る。 → 「彼はあなたの生徒でした」

He was your student.

ステップ 2 : 文の先頭に be 動詞を持ってきて、最後を ? にする。

Was he your student?

<例 2 : 昨日彼らは忙しかったのですか>

ステップ 1 : be 動詞の過去形の肯定文を作る。 → 「昨日彼らは忙しかったです」

They were busy yesterday.

ステップ 2 : 文の先頭に be 動詞を持ってきて、最後を ? にする。

Were they busy yesterday?

### 【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。

Yes, 代名詞 was / were.

No, 代名詞 wasn't / weren't.

Was / Were ~? でなので、was / were で答える。  
am / is / are や did で答えないように注意。

<例> Was he your student?

Yes, he did. =×

\* wasn't / weren't を使うのが一般的だが、was not / were not と分けることも可。

<例 1>

Was he your student? (彼はあなたの生徒でしたか)

はい → Yes, he was.

いいえ → No, he wasn't. (No, he was not.)

<例 2>

Were they busy yesterday? (昨日彼らは忙しかったのですか)

はい → Yes, they were.

いいえ → No, they weren't. (No, she did not.)

そして、過去形の疑問文に Why / Where などの疑問詞を足す場合は、いつも通り、Was / Were ~? の前に疑問詞を足してあげれば完成です！

### 【疑問詞を使った疑問文：基本の形】

疑問詞 + 疑問文？

<例> Where were you yesterday? (昨日あなたはどこにいたのですか)

Why were they in our office? (彼らはなぜ私たちのオフィスにいたのですか)

### 【疑問詞を使った疑問文の作り方】

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何・どこ) に同じ種類の「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を **疑問詞**に戻す。

ステップ 3: 疑問詞を **文の先頭**に持ってくる。

<例：昨日あなたはどこにいたのですか>

ステップ 1: 疑問詞の部分 (何) に同じ種類の「適当な単語」を入れて疑問文を作る。

「どこ」の部分「東京」に変える → 「昨日あなたは東京にいたのですか」

Were you in Tokyo yesterday?

ステップ 2: 入れた「適当な単語」を疑問詞 (where) に戻す。 in Tokyo → **where** に戻す。

Were you **where** yesterday?

ステップ 3: 疑問詞を文の先頭に持ってくる。

**Where** were you yesterday?

## Lesson 14-4 : 様々なフレーズ⑱

### 1. change into pajamas = パジャマに着替える

<例> Do you change into pajamas at night? <あなたは夜パジャマに着替えるのですか>

#### 【補足説明】

change は「変わる・変える」という意味だけでなく「着替える」という意味もある。また、into は「～の中へ / ～の中に向かっていく」という意味。change into 「～に変わる」「～となる」という意味もあり、「毛虫 (caterpillar) が蝶々 (butterfly) になる」「水は蒸気 (vapor) に変化する」と言いたい時などにも使われる。

<例> Caterpillars change into butterflies. (毛虫は蝶々になる)

Water changes into vapor. (水は蒸気になる)

pajama は、基本的に上下セットのことを指すため、pajamas と複数形で用いられる。

### 2. surf the Internet = インターネットをする / ネットサーフィンする

<例> Do you surf the Internet every day?

<あなたは、毎日ネットサーフィンをするのですか>

#### 【補足説明】

surf は「サーフィンをする」という一般動詞として使われている。また、インターネットを使うという意味では、use という動詞もよく使われる。Internet は、基本的に the Internet と the がつき、I は大文字になる。

### 3. winter vacation = 冬休み

<例> Our winter vacation was short. <私たちの冬休みは短かったです>

#### [補足説明]

vacation は「休暇 / 休み」という意味。winter の代わりに summer など他の季節を入れることが可能。

### 4. miss ~ = ~を取り損なう / ~取り逃がす / ~を見落とす / (バスなどに) 乗り遅れる

<例> I missed the bus. <私は、バスに乗り遅れました>

### 5. What's up? = 調子はどう? / 最近どう? / どうした?

<例> A: What's up? B: Nothing. <A: どうした? B: 何も>

#### [補足説明]

What's up? は、かなりくだけた挨拶。基本的に What's を What is とはしない。返しの挨拶は、特に何もなければ Nothing. (何も) / Nothing much. (特には何も) などが一般的。何かあれば "I have a question." (質問があるんだけど) など、要件を話し始める。up には「(議論・話題などに) あがる」という意味もあるため、What's up? の直訳は「何が(話題に)上がっているの?」と捉えることができ、返しの挨拶には、Nothing. ということが可能となる。